

施策評価(平成29年度)

1 基本項目

基本目標	4	ひとと環境にやさしい安全で快適なまち
基本施策	1	未来につなぐ環境都市の実現
施策	25	循環型社会
基本方針		
環境にやさしい低炭素社会・資源循環型社会を築きます。		

2 事後評価結果

計画事業名	進捗状況	妥当性 (必要性)	効率性 (手法)	有効性 (成果)	今後の 方向性
廃棄物の共同処理などに関する取組みの推進	計画どおり完了	A	A	A	現状のまま継続
リサイクル商品取扱い店舗などとの連携	計画どおり完了	A	A	A	現状のまま継続

3 施策評価結果

<p>施策25「循環型社会」では、2事業について評価を実施した。</p> <p>進捗状況については、すべて「計画どおり完了」であり、滞りなく履行されている。</p> <p>各事業における妥当性(必要性)、効率性(手法)、有効性(成果)については、すべてA(適切なもの)と評価している。</p> <p>これらを踏まえた結果、施策25「循環型社会」については、取組内容は順調に推移しており、今後の方向性については、全ての事業で引き続き、「現状のまま継続」していくこととする。</p>

1.基本項目		作成部署		産業環境部			生活環境課
事業名		開始年度		実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト
00 廃棄物の共同処理などに関する取組みの推進		不明	年	継続	自治事務(市独自)	直営	
01			年				
02			年				
03			年				
04			年				
05			年				
関連課							
基本目標	4	ひとと環境にやさしい安全で快適なまち	施策区分	25	循環型社会	重点事業No.	1

2.事業の概要

施策の基本方針		環境にやさしい低炭素社会・資源循環型社会を築きます。					
事業内容		今後の廃棄物処理施設のあり方について、周辺地域における共同処理、民間活力の導入などを調査・研究し、共同処理などに関する取組みを推進していきます。					
根拠法令							
条例							
要綱等							

3.実施計画

Plan【計画】	平成28年度(現況)	3か年計画		
		平成29年度	平成30年度	平成31年度
事業内容 事業量等	廃棄物処理施設の共同処理などについて調査・研究 同左 周辺地域とのごみ分別統一に向けた検討 同左 し尿処理の共同処理に向けての準備(青梅市に事業委託) 同左	同左	同左	同左
			周辺地域とのごみ分別統一 同左 ※次年度の共同処理費用を算出	資源リサイクルマニュアルの改訂 し尿処理の共同処理開始

4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成28年度(現況)		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	96 H	1人	96 H	1人	48 H	1人	48 H
主事・主任職	1人	96 H	1人	96 H	1人	96 H	1人	96 H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成28年度(現況)	平成29年度	平成30年度	平成31年度
事業費	1,728	7,938	36,742	-
人件費(係長職)	478	478	239	239
人件費(主任・主事職)	327	327	327	327
総事業費(合計)	2,533	8,743	37,308	566
国庫支出金				
都支出金				
受益者負担額				
その他特定財源				
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)	2,533	8,743	37,308	566
財源内訳(合計)	2,533	8,743	37,308	566

③コスト計算

ア 市民 人における1人あたりのコストは、 円

イ 対象者 人における1人あたりのコストは、 円

ウ 成果(物) の出来高 のコストは 円

※ 対象者:

Do(実行)

5.実施結果

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①指示事項・改善

無	有	指示事項・改善内容
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

②活動実績

○羽村市負担分(青梅市し尿処理施設の設計・施工監理業務委託料・工事費)の内、平成29年度分を負担金として支出
 ○発注支援業務委託料の羽村市負担分を負担金として支出
 ○平成30年度予算(負担金)の算定

③投入実績

決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	7,938	1,700	9,638	9,562	99.2%

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	96 H	1人	96 H
主事・主任職	1人	96 H	1人	96 H

④事業量(活動量)

実施計画	今年度実績
○羽村市の平成29年度のし尿・浄化槽汚泥搬入量を青梅市へ報告。 ○平成29年度分のし尿処理負担金の支出。	○羽村市の平成29年度のし尿・浄化槽汚泥搬入量を青梅市へ報告。 ○平成29年度分のし尿処理負担金の支出。

Check(評価)

6.事業の評価 S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥(必要性) <input checked="" type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 ()	A
効(手法) <input type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input checked="" type="checkbox"/> その他 (他の団体との共同処理としている)	A
有(成果) <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input checked="" type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	A

7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価

計画どおり実施。

Action(改善)

8.今後の方向性

現状のまま継続 レベルアップ 縮小 実施主体の見直し 休止・廃止 完了

【改善点】

【今後の取組方針】

羽村市負担分(青梅市し尿処理施設の設計・施工監理業務委託料・工事費)の内、平成30年度分を負担予定。

1.基本項目		作成部署	産業環境部			生活環境課
事業名		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト
00 リサイクル商品取扱い店舗などとの連携		平成 29 年	継続	自治事務(市独自)	直営	○
01		年				
02		年				
03		年				
04		年				
05		年				
関連課						
基本目標	4	ひとと環境にやさしい安全で快適なまち	施策区分	25	循環型社会	重点事業No. 2

2.事業の概要

施策の基本方針	環境にやさしい低炭素社会・資源循環型社会を築きます。
事業内容	リサイクル商品を取扱う店舗などを、市のリサイクル推進協力店として認定する制度を検討し、行政と事業者などの連携およびリサイクルの推進を図ります。
根拠法令	
条例	
要綱等	

3.実施計画

Plan【計画】	平成28年度(現況)	3か年計画		
		平成29年度	平成30年度	平成31年度
事業内容 事業量等	制度構築に向けて調査・研究	制度構築の検討	行政と事業者などの連携を構築 認定制度の試行運用	行政と事業者の連携の推進 同左

4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成28年度(現況)		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	人	H	人	H	人	H	人	H
主事・主任職	人	H	人	H	人	H	人	H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成28年度(現況)	平成29年度	平成30年度	平成31年度
事業費			10	10
人件費(係長職)				
人件費(主任・主事職)				
総事業費(合計)			10	10
国庫支出金				
都支出金				
受益者負担額				
その他特定財源				
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)			10	10
財源内訳(合計)			10	10

③コスト計算

ア 市民 56,079 人における1人あたりのコストは、円

イ 対象者 人における1人あたりのコストは、円

ウ 成果(物) の出来高 のコストは 円

※ 対象者:

Do(実行)

5.実施結果

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①指示事項・改善

無	有	指示事項・改善内容
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

②活動実績

家庭から排出される使用済みパソコンや小型家電について、事業者と連携した取り組みにより、リサイクルを推進する方策について検討した。

③投入実績

決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費					-

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	15H	1人	15H
主事・主任職	人	H	人	H

④事業量(活動量)

実施計画	今年度実績
○制度構築の検討	○平成30年度の事業実施に向けた検討

Check(評価)

6.事業の評価 S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥当性(必要性) <input type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input checked="" type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他()	A
効率性(手法) <input type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input checked="" type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input type="checkbox"/> その他()	A
有効性(成果) <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input checked="" type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	A

7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価

家庭から排出されるパソコンについては、資源有効利用促進法に基づき、消費者とメーカーが協力しながら再資源化することとされているが、事業者と行政の連携により、使用済み小型家電のリサイクルとしていけるかどうか研究していく価値がある。

Action(改善)

8.今後の方向性

現状のまま継続 レベルアップ 縮小 実施主体の見直し 休止・廃止 完了

【改善点】

パソコンをリサイクル品に追加し、テレビや冷蔵庫などの家電リサイクル法におけるリサイクル料金の取扱いや、処分するための手続きに係る負担を軽減するための方策について検討する。

【今後の取組方針】

平成30年度の事業開始に向けて準備を進める。